

世界株式型(為替ヘッジなし)特別勘定 運用状況(2009年12月末現在)

運用方針

- 主に世界各国の株式に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。
- 原則として、為替ヘッジは行いません。
- MSCI KOKUSAIインデックスを上回る投資成果を目指します。
- 運用にあたっては、当社が選定した複数の投資信託を組み合わせた運用を行います。なお、運用成果の向上を図るため、特別勘定で投資する投資信託については、継続的にモニタリングを行い、適宜見直しを行ってまいります。

資産内訳

| | 金額(千円) | 構成比 |
|---------|-----------|--------|
| 投資信託 | 1,102,851 | 96.1% |
| 現預金・その他 | 45,075 | 3.9% |
| 合計 | 1,147,926 | 100.0% |

運用状況

2009年12月の世界株式市場は、MSCI KOKUSAI(現地通貨ベース)で3.18%の上昇となりました。ギリシャ国債の格下げが一時懸念材料となったものの、経済指標の回復やアラブによるドバイ救済が市場に安心感を与え、景気に対する楽観的な見方が強まりました。このような市場環境の中、円安が進行したこともあり、当特別勘定は8.61%上昇しました。

当特別勘定では、資産規模を勘案し、マルチ・マネージャー型の投資信託を中心とした運用を行っています。

12月は当勘定における投資信託の売買はありませんでした。

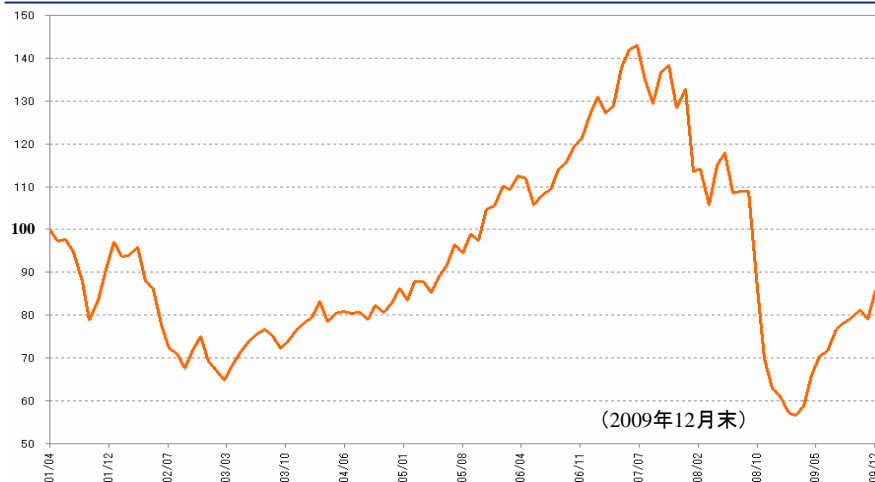
1月についても、「ラッセル外国株式ファンドI-4B」、「年金積立インデックスファンド海外株式(ヘッジなし)」への投資を継続する方針ですが、ファンドへの投資配分・入れ替えについては適宜検討します。

ユニット・プライス騰落状況

| ユニット・プライス | 過去1ヵ月 | 過去3ヵ月 | 過去6ヵ月 | 過去1年 | 過去3年 | 過去5年 | 設定来 |
|-------------|--------|--------|---------|---------|---------|--------|---------|
| 85.82328481 | +8.61% | +8.05% | +19.95% | +40.46% | ▲32.33% | ▲0.62% | ▲14.18% |

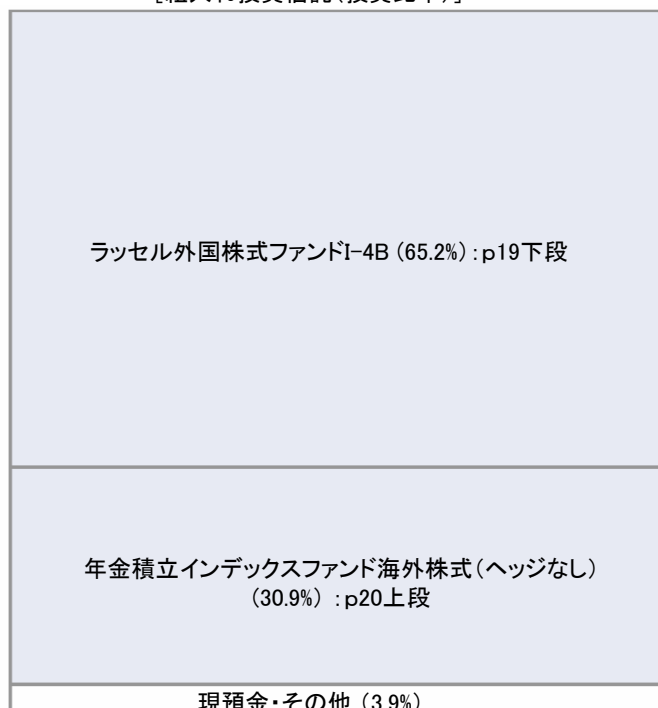
(注)ユニット・プライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための参考値で、特別勘定の運用を開始した時点(2001年5月1日)を「100」として数値化したものです。

ユニット・プライスの推移(運用開始日:2001年5月1日)



ポートフォリオの状況

[組入れ投資信託(投資比率)]



(注)「p19下段」等と記載してあるのは、各投資信託の運用状況を記載しているページです。ご参照ください。

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/27ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。